

平成 2 1 年度環境こだわり農産物残留農薬検査結果（概要）

1．分析の目的

環境こだわり農産物認証制度に対する消費者からの信頼性を高めるために、認証された環境こだわり農産物について、農産物中の残留農薬の検査を実施するとともに、生産記録が正しく記載されていることを確認することとしています。

2．分析試料

平成 2 1 年産環境こだわり農産物

3 0 検体（水稲 2 0 検体、野菜・果樹 1 0 検体）

3．分析農薬

水稲 2 2 農薬、野菜・果樹 4 7 農薬

4．分析結果

（ 1 ）分析した農薬のうち、食品衛生法の残留基準値を上回る農薬は検出されませんでした。

（ 2 ）

水稲 1 1 検体、野菜・果樹 2 検体から、検出下限（ 0 . 0 1 p p m ）を超える農薬が検出されましたが、いずれも残留基準値以下でありました。

そのうち、水稲 1 検体から、生産記録にない農薬が検出されました。

農業者からの聞き取り、生産現場、農薬保管場所、作業日誌や農薬納入伝票等の確認の結果、農業者は当該農薬を使用しておらず、他からの飛散により検出されたと考えられます。

5．今後の対応

引き続き、生産記録を正しく記載されるように指導します。

農薬の使用にあたって、飛散防止対策や近隣の農家間で防除に係る情報交換を進めるよう、研修会等を活用して啓発指導します。